

彙報

人口民族部研究報告會

人口民族部の定例研究報告會は、廳舎の都合上暫く中絶してゐたが、新廳舎移轉と共に、従前通り毎週水曜日に例會を開くこととなり、年内に左の如く研究報告がなされた。

十一月二十一日

館研究官

地域的に見たる我國生産力の發展と人口の集積

地域別人口壓力指數

十一月二十八日

三國研究官

國民福祉指數に就て

十二月五日

關山研究官

育児費調査結果の概要

十二月十二日

左右田研究官

人口の産業構造に關する研究

十二月二十一日

横田研究官

Norman E. Heynes "Medical History of Cotraception" に就て

炭礦勞務緊急充足に關する措置

終戦後朝鮮人、中國人勞務者の歸國等に依り、石炭の産出量は著しく減退し、引いて國民生活一般に未曾

有の危機を齎すに至つたので、政府は昭和二十年十月二十六日閣議を以て之が打開策を講ずることとなり、厚生省は其の具體策として、先づ勞務者の緊急充足を圖るため、十一月二日各府縣長官宛左の如く通牒を發した。

炭礦勞務ノ緊急充足ニ關スル件

現下石炭事情ノ極度ニ逼迫セルニ鑑ミ茲ニ十月二十六日閣議ニ於テ別紙ノ通り石炭生産緊急對策ニ關スル件ニ決定相成直ニ之ガ實施ニ移スコト相成候處目下ノ石炭事情ハ炭礦ニ於ケル治安狀況ノ惡化、炭礦醜使ニ依ル切羽ノ崩潰、貯炭ノ減少、風水害、加フルニ勞務ノ補充難等ノ惡條件ノ堆積ニ依リ之ガ減産振リハ著シキモノアリ斯クテハ戰後ニ於ケル平和産業ノ復興、國民生活ノ再建ハ期スベクモアラズ洵ニ憂慮スベキ實情ニ有之候處特ニ石炭生産ノ最大要素タル勞務ニ付テハ終戦後從來之ガ中堅ニ位置セル朝鮮人、華人等ノ移入勞務者ノ歸還、怠業等ニ依リ俄カニ勞務ノ逼迫ヲ來シ一層減産顯著トナリタル狀況ニ鑑ミ之ガ勞務ノ緊急充足ハ刻下ノ最大喫緊事ニ有之候ニ付テハ左記御了知ノ上別紙要綱ニ依リ之ガ所要勞務ノ絕對確保ヲ期シ格段ノ御努力相成度

記

- 一、各廳府縣供出目標數ハ別表ノ通り決定セルコト
- 二、需要地廳府縣ハ右ニ依リ直チニ炭礦ノ實情ニ即シタル受入計畫ヲ樹テ速カニ供出地廳府縣ニ聯絡ヲ爲スコト
- 三、供出地廳府縣ニ於テハ管内勤勞署別供出割當數ヲ決定スルニ當リテハ炭礦ノ從來ノ地盤關係等ヲ充分

斟酌シ之ヲ爲スコト

四、前二號ノ各措置ハ遅クモ十一月二十日迄ニ完了スル如クスルコト

五、供出目標數ハ一應ノ供出努力目標ヲ示セルモノナ

ルニ依リ徒ラニ之ニ拮ハルコトナク充足見込確實

ナルモノ等ニ付テハ右目標ヲ超ユルモ支障ナキニ付

相互緊密ナル聯絡ヲ圖リ彈力性アル措置ヲ講ズルコト

六、給源ハ概ネ左ニ求メ強力ナル指導勸奨ニ依リ充足

ノ完遂ヲ期スルコト

(一) 炭礦勞務經驗者

需要地廳府縣ニ於テ出身地別經驗者名簿ヲ求人者

ヨリ提出セシメ之ヲ活用スルコト

(二) 軍工場復員者

軍復員者ニ付テハ陸軍職業輔導會支部、海軍復員

接護會支部ト聯絡ノ上之ガ協力ヲ求ムルコト

(三) 戰災等ニ依リ疎開者

(四) 季節的出稼ノ慣行ヲ有スル者

農山村ニ於ケル有經驗者ノ活用ヲ圖ルコト

(五) 其ノ他ノ適格者

供出ニ當リテハ其ノ勞務ノ特殊性ニ鑑ミ極力適格

者ノ確保ニ留意スルコト

七、指導勸奨ノミニ依リテハ充足困難ト認メラルル場

合ハ已ムヲ得ズ強制的措置ヲ執ル見込ナルモ能フ限

リ自發的ナル協力ニ依リテハ如ク措置スルコト

八、別紙要領ニ依リ炭礦勞務專任囑託並之ガ補助員ニ

付テハ別途石炭統制會ヨリ推薦アル等ニ付速カニ適

任者選定ノ上所要ノ手續ヲ了シ之ガ活用ヲ圖ルコト

九、食糧賃金等處遇ニ付テハ別途通牒ノ豫定ナルコト

炭礦勞務緊急充足ニ關スル實施要綱

第一、目的及充足強調期間

現下炭礦勞務ノ緊要ナルニ鑑ミ十一月、十二月ノ二ヶ月ニ互リ特ニ廳府縣及職業紹介機關ノ一體の活動ヲ強調シ其ノ全機能ヲ擧ゲテ之ガ勞務ノ確保ヲ期セントス

第二、普及宣傳

廳府縣ノ實情ニ即シ大體左ニ依リ現下石炭事情ノ逼迫化及ビ炭礦勞務ノ重要性ヲ認識セシムル普及宣傳ヲ爲ス

(一) 官民一體トナリ關係團體ノ協力ヲ促シ從來炭礦勞務ノ供出比較的多キ地方ニ對シ集中的ニ行フト共ニ軍工場復員者ニ對シテハ特ニ徹底セシムル様考慮スルコト

(二) 一般の宣傳トシテハラデオ、新聞紙、ポスター、ビラ、映寫用スライド、其ノ他ノ公示宣傳ヲ利用スルコト

(三) 炭礦勞務ノ供出比較的多キ地方ニ對シテハ町内會、部落會等ノ協力ヲ求メ炭礦事情ニ關スル座談會、懇談會等ヲ開催スルコト

此ノ場合炭礦勞務專任囑託及ビ補助員ヲ活用スルコト

第三、勞務開拓

農山村等從業炭礦勞務比較的多キ地方ニ於ケル季節的の出稼ヲ慫慂スルハ勿論軍工場復員者等ニ對シテハ積極的ナル開拓ヲ爲ス

(一) 廳府縣及勤勞署職員ニ地域別擔當ヲ定メ最近ノ失業狀況等ノ調査ヲ參考トシ戶別の開拓ヲ爲ス

第四、其ノ他

ノ外聯絡委員等ノ活動ヲ促スコト
(二) 專任囑託及補助員ノ自由活潑ナル活動ヲ爲シ得ル如クシ本來ノ能力ヲ充分ニ發揮セシムルコト

廳府縣及勤勞署ハ供出割當數充足ニ付飽ク迄責任ヲ持チ完全ナル供出ニ努ムルコト

(一) 本期間中適當ナル時期ニ隨時應援協力ノ爲關係省ヨリ保官ヲ派遣スル豫定ナルコト

(二) 需給兩地廳府縣及勤勞署ハ常ニ密接ナル聯絡ヲ保チ炭礦事情、受入態勢、勞務ノ供出狀況等ニ付情報交換ヲ爲シ受入、供出ニ付過誤ナキヲ期ス

昭和二十年米豫想收穫高 (九月二十日現在)

道	市	町	村	總數	作付面積	豫想收穫高	對前年度	對前年實收高	平均五ヶ年
北海道				二、九四、三〇・五	一、四〇、七〇〇	一、六六、二、九〇	△	一、五五、八、八〇	一、四七、七、〇〇
東北區				一、四三、四三・三	一、〇〇、七〇〇	一、〇〇、七〇〇	△	一、〇〇、七〇〇	一、〇〇、七〇〇
青森				六四、七五・五	七五、五〇〇	六四、七五・五	△	七五、五〇〇	五七、〇〇〇
岩手				三二、一六・五	九三、四〇〇	三二、一六・五	△	三二、一六・五	三三、〇〇〇
宮城				九三、五七・八	一、〇〇、〇〇〇	九三、五七・八	△	一、〇〇、〇〇〇	九八、〇〇〇
秋田				二〇、三九・九	一、一七、一〇〇	二〇、三九・九	△	一、一七、一〇〇	一、〇〇、〇〇〇
山形				九一、七八・八	一、〇〇、〇〇〇	九一、七八・八	△	一、〇〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇
福島				六八、六四・九	一、二八、〇〇〇	六八、六四・九	△	一、二八、〇〇〇	五九、〇〇〇
關東區				一、〇三、一四・一	一、四〇、〇〇〇	一、〇三、一四・一	△	一、〇三、一四・一	一、〇三、一四・一
茨城				七九、〇九・九	一、一七、八〇〇	七九、〇九・九	△	一、一七、八〇〇	七九、〇九・九
栃木				四〇、〇八・〇	一、〇〇、〇〇〇	四〇、〇八・〇	△	一、〇〇、〇〇〇	四〇、〇八・〇
群馬				三九、〇九・三	一、〇〇、〇〇〇	三九、〇九・三	△	一、〇〇、〇〇〇	三九、〇九・三
埼玉				一〇〇、六四・四	一、二六、四〇〇	一〇〇、六四・四	△	一、二六、四〇〇	一〇〇、六四・四
千葉				一〇〇、六四・四	一、二六、四〇〇	一〇〇、六四・四	△	一、二六、四〇〇	一〇〇、六四・四